

平成30年度「八Pアンケート」(学校評価)の結果について(報告) 八幡小学校

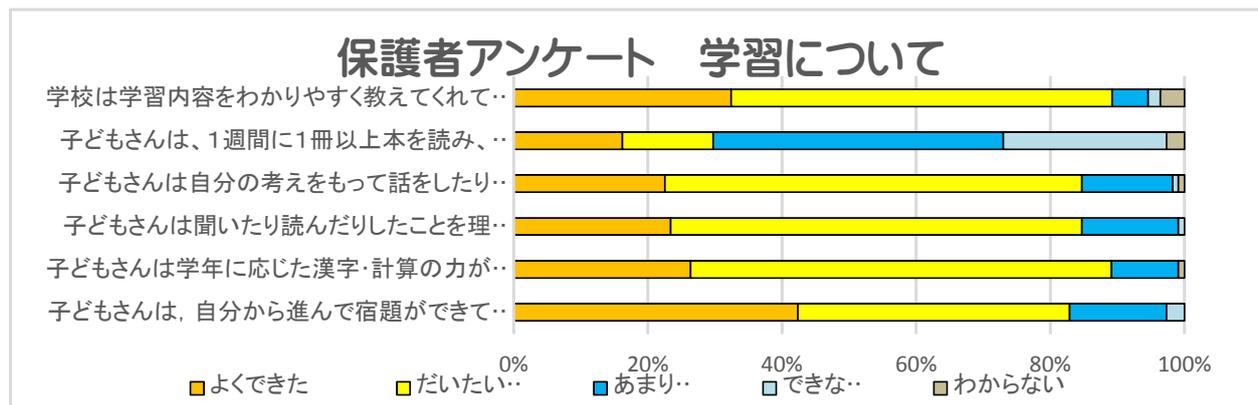
平成31年3月8日

「八Pアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

今回のアンケートからたくさんのご示唆をいただきました。結果等をしっかり踏まえ、今後の教育活動がよりよいものとなるよう改善を加え、子どもたちが、校訓のように「力いっぱい」活動でき、保護者・地域の皆さんに信頼される学校づくりに教職員一同、全力で取り組んでいきたいと思っております。今後ともご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

1 保護者アンケート調査結果の考察

(1) 学習について

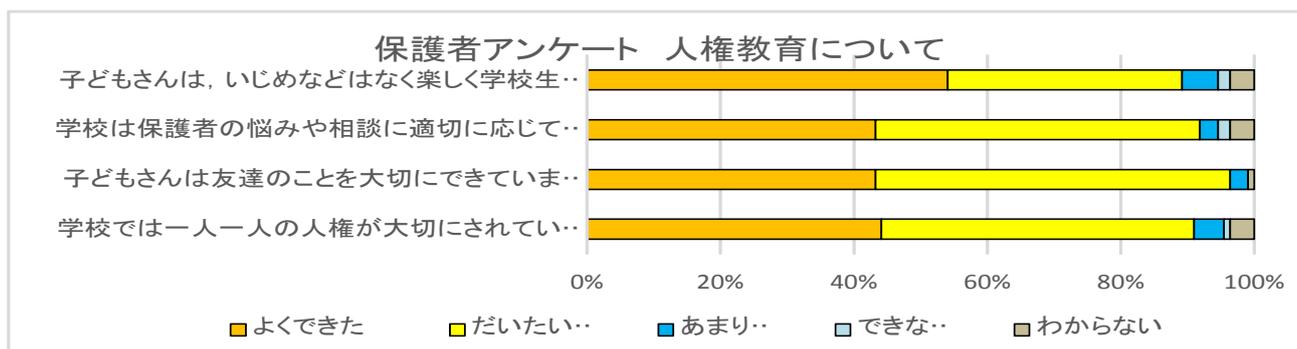


<結果と考察>

ほとんどの項目について、肯定的な評価「よくできた」「だいたいできた」が80%を上回っており学習活動がおおむね良好な状態であると評価をいただきました。

しかし、家庭での読書については、肯定的な評価が低く、読書習慣が身につけていないという課題がみられます。学校では、「読み聞かせ」や「朝の読書」、「授業における読書活動」「図書委員会による読書推進活動」など子どもたちが読書に興味を持てるようにしていますが、まだ不十分であるということが分かりました。

(2) 人権教育について

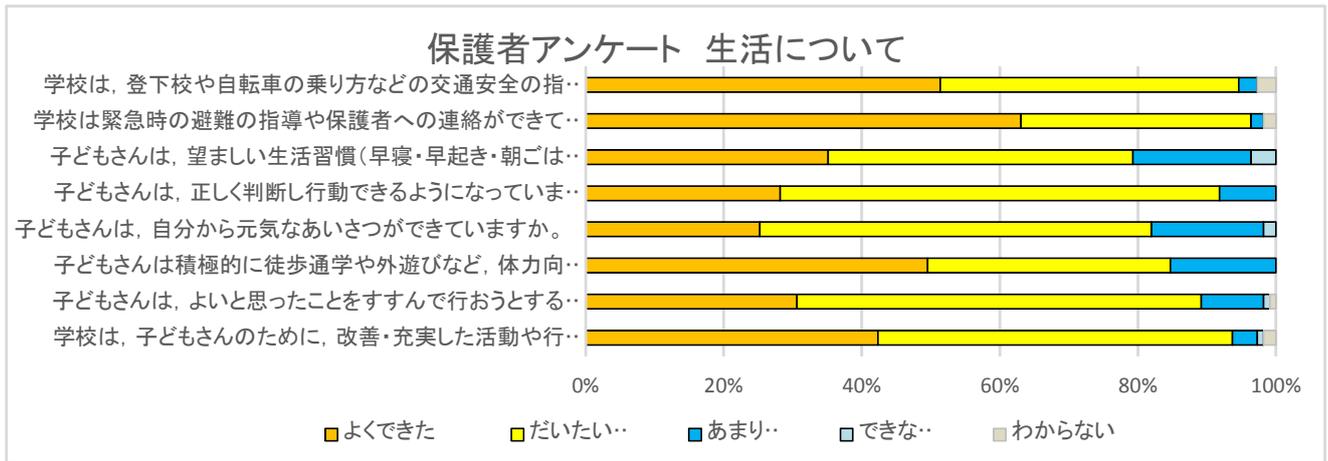


<結果と考察>

人権教育の項目については、全てが肯定的な評価「よくできた」「だいたいできた」をいただきました。

しかし、「子どもさんは、いじめなどはなく楽しく学校生活が送れていますか」については、10.8%の方が「あまりできていない」「できていない」「わからない」と回答されています。本年度は、毎日の生活の中で子どもたちの様子をしっかりと見取ったり、子どもたちに各学期に1回「学校生活やいじめについてのアンケート」を行ったりして、教職員全員で子どもたち一人一人の思いを理解し、生活の中での問題を解決し、子どもたちが安心して生活できるように努めてきました。しかし、まだ、全ての子どもたちの思いが生かされているとは言えないという実態があることが分かりました。

(3)生活指導・安全教育について



<結果と考察>

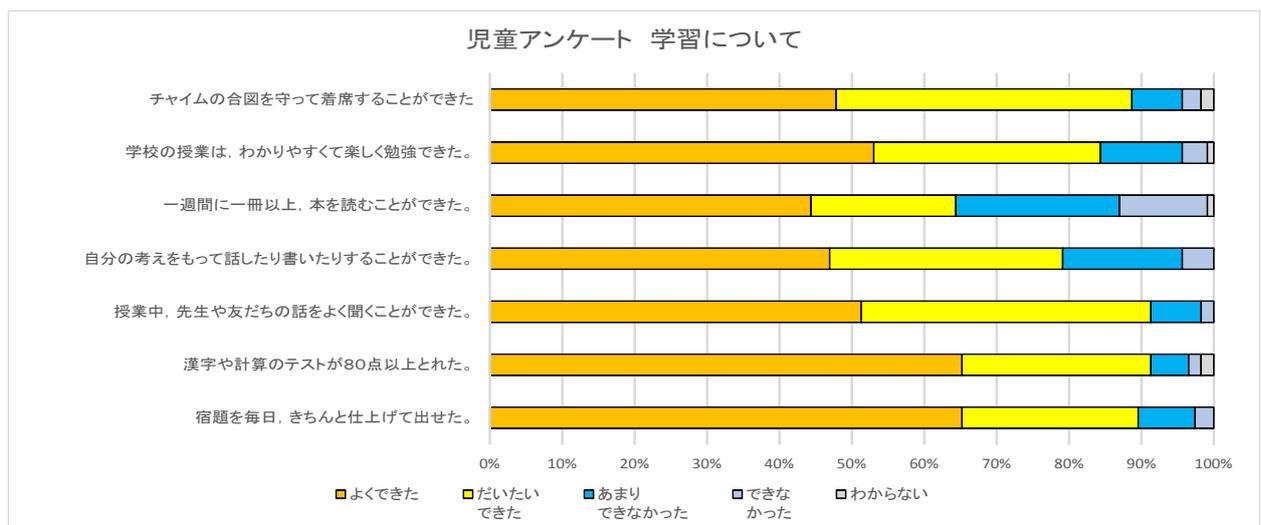
ほとんどの項目について、肯定的な評価「よくできた」「だいたいできた」が80%を上回っており、子どもたちが落ち着いた生活を送ることができていると考えられます。特に、災害時の行動や交通安全についての項目については90%を上回る好評価をいただきました。

しかし、「子どもさんは、望ましい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）が身に付いていますか」については、20.7%の方が「あまりできていない」「できていない」と回答されています。本年度は、保健指導においても、睡眠について学習し自分たち自身の生活を振り返りそれぞれの目標を立てて取り組んできましたが、ゲームやスマートフォン等の使用時間の増加により就寝時刻が遅くなってしまったり、睡眠時間が短かったりする子どもたちも少なくありません。

また、「子どもさんは、自分から元気なあいさつができていますか」についても、「あまりできていない」「できていない」との回答が18%となっています。朝の「おはようございます」や帰りの「さようなら」など決まったあいさつはほとんどの子どもたちができていますが、会った人に合わせて臨機応変にあいさつすることに課題があると考えられます。

2 児童アンケート調査結果の考察

(1)学習について



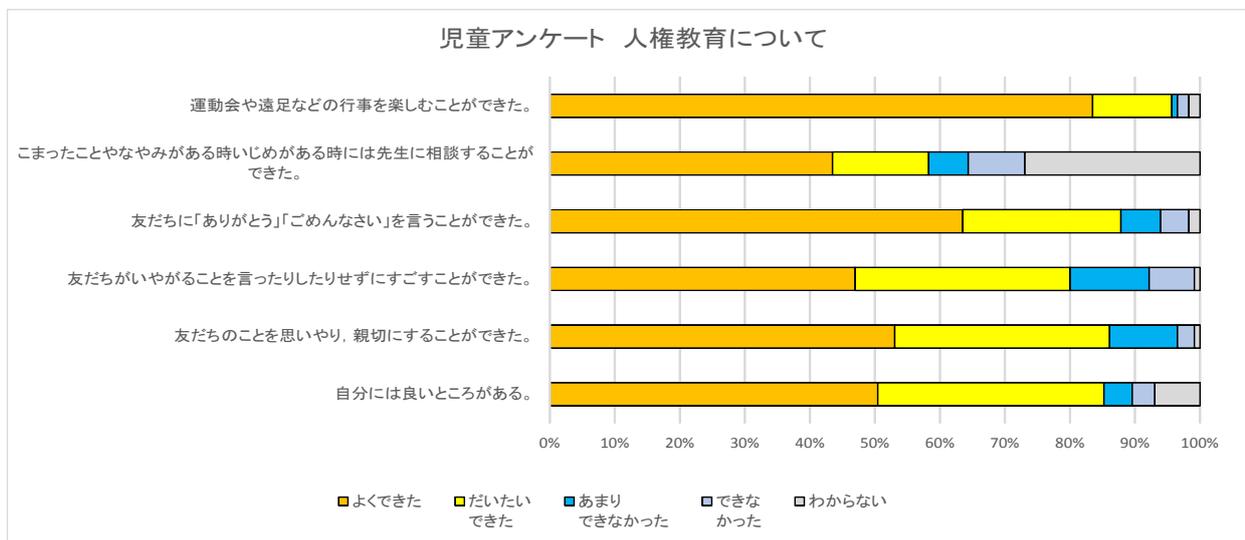
<結果と考察>

学習についての項目については、ほとんどの項目で昨年度のアンケートの結果より「よくできた」「だいたいできた」の肯定的な回答が増加しています。特に本年度は、学習規律についての指導について工夫改善を行い取り組んできました。始業のチャイムでの着席や話を聞く態度の向上がアンケート結果からもみられます。

また、漢字計算等の基礎学力の向上に合わせて、自分の考えを筋道を立てて書いたり話

したりする表現力思考力の向上についても今年度の重点目標として取り組んでいます。「自分の考えを話したり書いたりすることができた」の項目は、肯定的な回答が昨年度58%が本年度79%へと大幅に上昇し成果を上げています。読書についても昨年度の結果を上回ってはいるものの「できている」と感じている子どもは、64%に留まっており、継続しての取組が必要です。

(2) 人権教育について

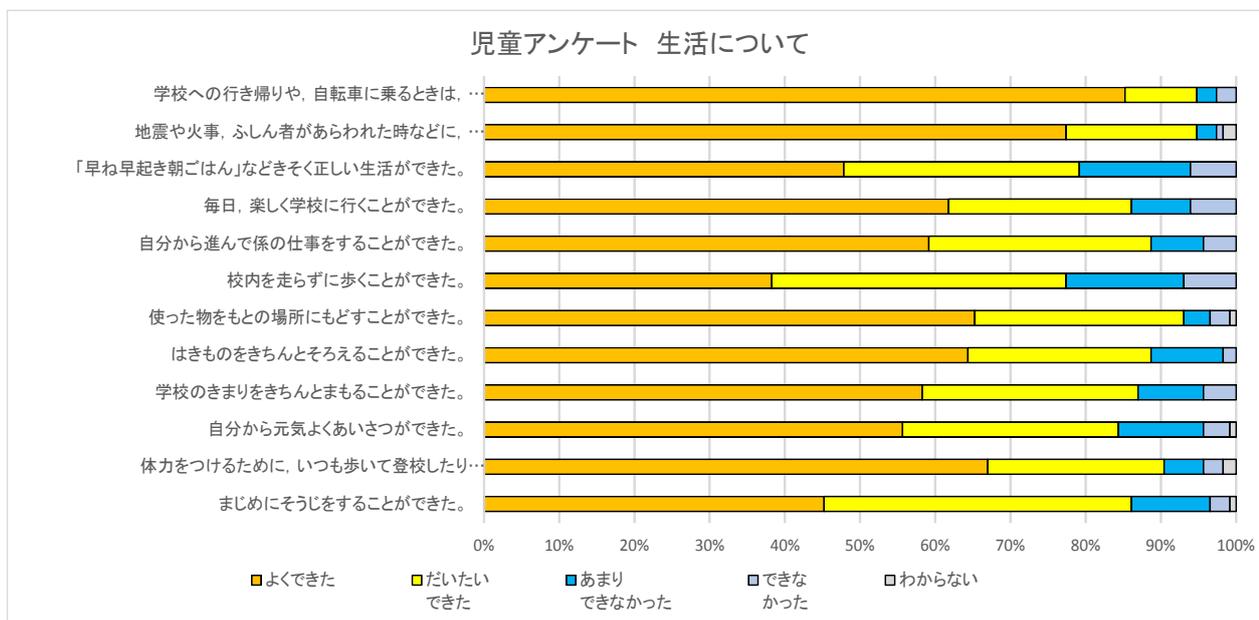


<結果と考察>

昨年度のアンケートの結果から、子どもたちの自尊感情が低いことが大きな課題であるということと分かり、本年度は子どもたちの自尊感情が向上できるように人権教育の推進を図ってきました。「自分には良いところがある」の項目については、昨年度の肯定的な回答65.5%が本年度は85.2%となっています。学校や家庭等で自分のことが認められ満足できる状況が増えてきたことが分かります。

しかし、「こまったことやなやみがある時、いじめがある時には先生に相談することができた」については「できた」と感じている子どもが58.2%と低くなっています。困ったときに相談できていない子どもが少なくないことから相談体制や児童理解について課題があることが分かりました。

(3) 生活指導・安全教育について

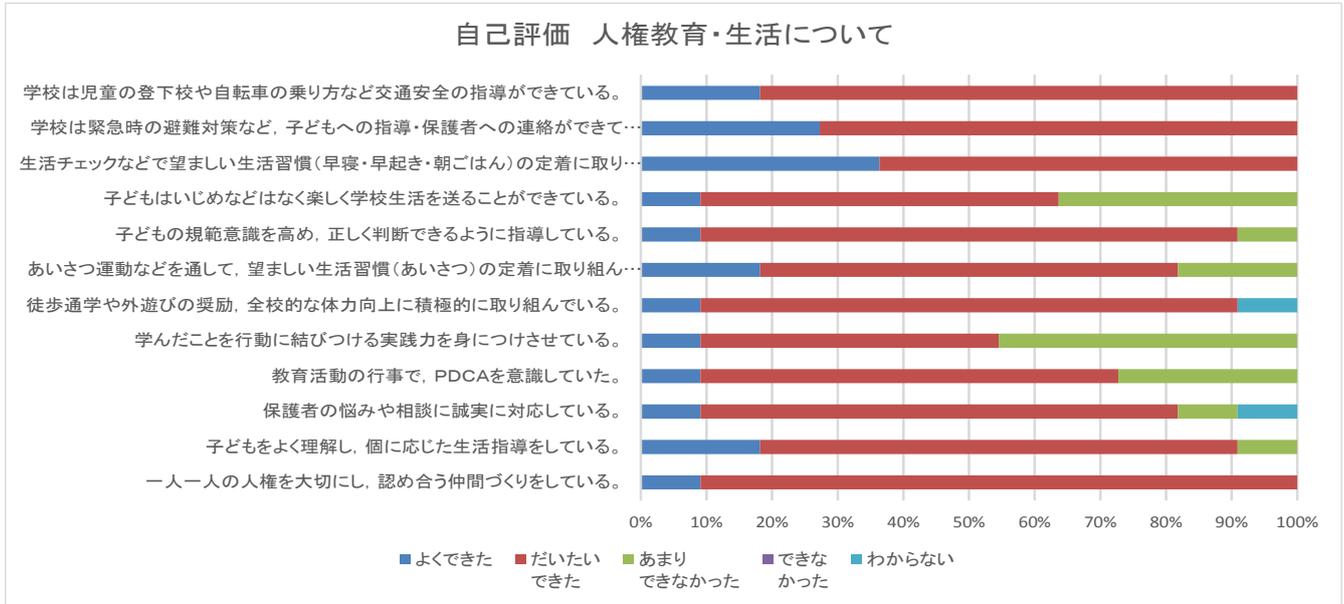


<結果と考察>

生活についての項目は、ほとんどにおいて肯定的な回答が80%を上回り、全般的に落ち着いて生活が送れていると言えます。しかし、きまりを守ることについて「校内を走らず歩くことができた」の項目は、「できていない」と回答している子どもが20%以上います。また、「早ね早起き朝ごはんなどきそく正しい生活ができた」の項目についても、「できていない」と感じている子どもが少なくありません。

3 自己評価について

(1) 人権教育・生活について

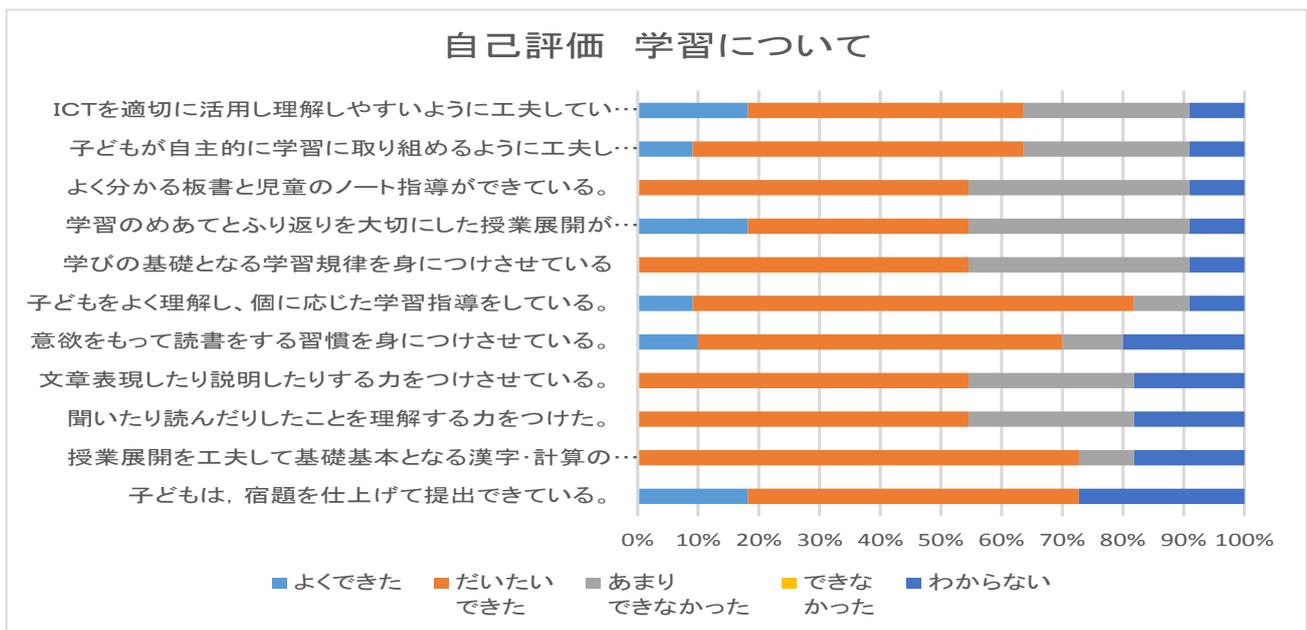


<結果と考察>

生活においては、人権教育や安全教育、保健教育など児童の健全な成長に向けて方策を立て取り組んでいます。生活態度が大変落ち着いてきており規範意識の高まりもうかがえます。

人権教育については、一人一人の人権を大切にし互いを認め合う集団作りに取り組んでいます。自己中心的な行動がみられる児童も少なくなく、いじめが起こるなどまだまだ不十分といえます。お互いが安心して生活できる場を作るために取り組んでいかなければなりません。

(2) 学習について



<結果と考察>

学力向上に向けて、学習規律の確立や授業改善についての研修を行い、教職員の指導力も向上してきました。それが、児童の思考力や表現力の向上へとつながっています。授業中に話を聞く態度や課題に向かう姿勢が身につく、成果を上げてきました。

4 学校関係者評価より

- ・ 学校全体が落ち着いており、充実した教育活動が行われている。
- ・ 地域のことを学習に生かしている。
- ・ 地域の運動会をこれからも盛り立ててほしい。
- ・ 学習発表会では、一人一人が活躍する姿が見られた。高齢者に配慮して大きな声で発表してほしい。
- ・ 授業参観では、児童が落ち着いて意欲的に学習している姿が見られた。
- ・ 地域のたんぼぼの会の方の読み聞かせを落ち着いてしっかり聞くことができている。
- ・ 様々な読書活動が工夫して行われている。
- ・ 地域の人材等を生かし地域の資源や地域の方から地域の良さを学ぶことができる。
- ・ 特別な教科道徳の評価について、児童のよさを認める配慮をしてほしい。
- ・ 元気良くあいさつができる児童がいる反面、相手に伝わるようなあいさつができていない児童もいるので指導を徹底してほしい。
- ・ 元気良く遊び体力を向上させる機会を増やしてほしい。
- ・ 午睡の取組について効果があれば続けてほしい。
- ・ 児童が安全に登校できている。
- ・ 次年度集団登校班のメンバーが少なくなる班についての配慮をしてほしい。
- ・ 地域と連携した防災に対する活動ができている。

5 次年度への課題

確かな学力の育成については、学習規律と望ましい学習習慣を身につけさせること、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ること、主体的・対話的・協働的に学び、思考力・表現力・実践力を備えた児童を図ることを重点に取り組んでいきます。読書活動については、日課表等の見直しを図り、学校での読書時間を多く確保するとともに、自分から進んで読書ができるよう指導していきます。

豊かな心の育成については、自他の人権を認め合い、いじめや差別を許さない、ちがいを認め多様性を尊重し合える、粘り強くやり遂げる、責任を持って行動できる児童を育てていきます。子どもたちの様子をより理解するために、「学校生活やいじめについてのアンケート」の回数や子ども一人一人と相談にのれる機会を増やしていきます。

健やかな身体力の育成については、進んで体力向上に努める児童、自分の健康課題に気づき、生活習慣の改善に取り組む児童を育てていきます。